

2013 年度ソーシャルワーカーデー記念トーク

人口減社会における福祉専門職の未来

開催要綱

1. 趣 旨

現在日本は少子高齢社会に突入しています。

厚生労働省の発表によると、介護職員数は、2000年の約55万人から2012年には約149万人と約3倍弱になった。要介護者数が増加したことが大きな要因です。しかし、2006年から日本は「人口減社会」に突入しています。

特に働く人口の減少が顕著になっています。産業としての福祉分野は有能な人材、とりわけ福祉専門職で成り立っていますが、将来も持続的に福祉分野での人材確保は可能なのでしょうか。また人材育成や雇用環境の課題、また、福祉専門職と地域社会の「市民」との協働の可能性等、私たち福祉専門職がこれからあるべき自らの姿を様々な角度から考え、解決策を発信することが必要になってきます。

そこで、わたしたち道内社会福祉専門職団体では、ソーシャルワーカーの在り方と社会的認知を広める「ソーシャルワーカーデー」に福祉専門職の未来について考える本トークを開催します。

2. 主 催 一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会
一般社団法人 北海道介護福祉士会
北海道精神保健福祉士協会
公益社団法人 北海道社会福祉士会

3. 後 援 日本社会福祉士養成校協会（予定）

4. と き 平成25年7月15日（月）13:00～14:30 ※12:00～受付開始

5. と ころ 札幌市／札幌市社会福祉総合センター 4階 大研修室
（札幌市中央区大通西19丁目1番1号）

6. 参加対象・参加定員

- 1) 参加対象 社会福祉に関心のある道民のみならず、保健・福祉・医療関係者のみならず
社会福祉専門職を目指す学生（養成校）のみならず等

- 2) 参加定員 200名
※先着順

7. 参加費 無料

8. 日 程

12:00	13:00	13:15	13:55	14:30
受付	開 会	趣 旨 説 明	提 言 報 告	ディスカッション

9. 内 容

1) 趣旨説明 (13:00~13:15)

今回の記念トークを企画立案した意図について説明します。

説 明 北海道社会福祉士会 会長 高橋 修一

2) 報告・提言「人口減社会における福祉専門職の未来」

(13:15~13:55)

生産人口の減少は、社会保障制度の改革のみならず、福祉専門職の人材確保といった問題を引き起こしています。また、ニーズの多様化により複数の専門職との連携をどのように行うか、誰がその調整を行うのかといった課題が残ります。さらに、福祉の担い手の多様化により、福祉専門職の存在意義や幅広い意味での「市民」と協働、連携する力量が問われる場面も増えつつあります。

そこで、私たち福祉専門職の存在意義と存立基盤を揺るがす課題をしっかりと見つめなおし、未来に向かってあるべき福祉専門職の姿をそれぞれの領域から発信します。

コーディネーター 高橋 修一

報告・提言1 北海道医療ソーシャルワーカー協会 医療福祉活動部長 上田 学

報告・提言2 北海道介護福祉士会 事務局長 羽山 政弘

報告・提言3 北海道精神保健福祉士協会 副会長 佐藤 志津

報告・提言4 北海道社会福祉士会 会員 長井 卷子

3) ディスカッション (13:55~14:30)

提言・報告を受け、参加フロアからのご意見もうかがいながらディスカッションを行います。

…ソーシャルワーカーデーとは…

社会福祉関係の全国17団体が加盟するソーシャルケアサービス従事者研究協議会は、ソーシャルワーカーの社会的認知を高めるために2009年から「海の日」をわが国の「ソーシャルワーカーデー」として創設しました。2013年度も引き続きソーシャルワーカーデーに係るイベントを行います。

10. 参加申込みおよび問合せ先

「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記宛に郵送またはFAXにてお申込みください。

<お申込み先・お問合せ先>

公益社団法人 北海道社会福祉士会 事務局

住所: 〒001-0010 札幌市北区北10条西4丁目 SCビル2F

電話: 011-717-6886 FAX: 011-717-6887

北海道社会福祉士会 事務局 行

《FAX 011 - 717 - 6887》

「2013年度ソーシャルワーカーデー記念トーク」 参加申込書

お名前	
連絡先 電話番号	

*用紙が足りない場合はコピーしてください。

※ 7月10日（水）までにFAXにて送付ください。